

# ING

Information  
Network  
Group **vol.22**  
2020 Summer

リーダーの肖像

## 国民のために、正直な政治 を取り戻す。

衆議院議員  
国民民主党代表

玉木雄二郎氏



The search  
for knowledge  
never ends

Education feeds the  
fire of inspiration

【知識の探求は終わらない 教育はインスピレーションに情熱を注ぐ】

**輝き**  
Interview **誰にもやさしく、誰からも信頼される。** そんなアナウンサーになりたい。  
テレビ大阪 アナウンサー **坂本 七菜** さん

**企業**  
探訪 「自動車関連総合サービス業界」の雄として、  
お客さまの車両管理をワンストップでサポート  
株式会社イチネン 代表取締役社長 **黒田 勝彦** 氏

**Moving**  
Beyond **コロナ後の社会と環境**～「想定外」の厄災に備えて～  
早稲田大学法学部教授(前環境事務次官) **森本 英香** 氏

02	リーダーの肖像 衆議院議員 国民民主党 代表 <b>玉木 雄一郎氏</b> 国民のために、正直な政治を取り戻す。	22	Health Information 一般社団法人 日本環境感染学会 理事長 <b>吉田 正樹氏</b> 東京慈恵会医科大学 感染制御科 教授 新型コロナウイルス感染症の流行と今後の行方、感染対策
08	輝き Interview テレビ大阪アナウンサー <b>坂本 七菜さん</b> 誰にもやさしく、誰からも信頼される。そんなアナウンサーになりたい。	26	SCOOP 国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所 所長 <b>安永 裕幸氏</b> アフリカビジネスの可能性
12	企業探訪 株式会社イチネン 代表取締役社長 <b>黒田 勝彦氏</b> 「自動車関連総合サービス業界」の雄として、 お客様の車両管理をワンストップでサポート	30	国際事件記者の目 ジャーナリスト <b>中島 健一郎氏</b> コロナ後の日本 小さいことは素晴らしい
16	HOT BREAK 東京ゴルフ倶楽部 広報委員長 <b>黒須 一雄氏</b> 創立より100年の時を超えて息づくジェントルマンシップ	32	Asian Now 協同組合 ビジネスプラザ 理事 <b>安藤 正啓氏</b> 緊急レポート! 新型コロナウイルス禍が直撃した技能実習生
18	Moving Beyond 早稲田大学法学部教授(前環境事務次官) <b>森本 英香氏</b> コロナ後の社会と環境 ~「想定外」の厄災に備えて~		他: 組合広告 表4: 株式会社 シード「ジアバトル」

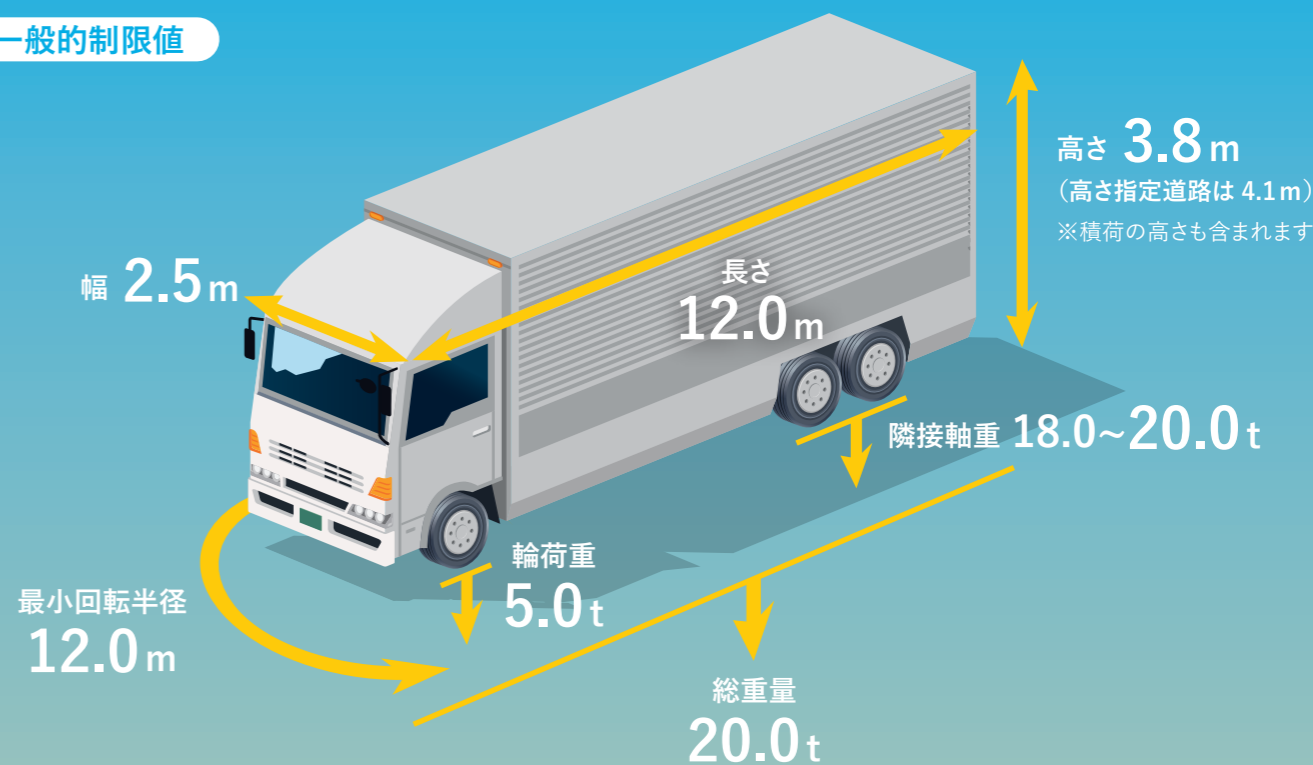


ING 2020年 vol. 22 発行: 一般社団法人国際情報普及協会 〒105-0004 東京都港区新橋5-12-1 露月町ビル4階 TEL: 03-3434-6203  
編集長: 小松 宣俊 製作・編集: 岩崎 亮太郎・吉田 安希 デザイン: 株式会社プランニング・ロケット 表紙の英文と訳: 本山 清治 印刷: 株式会社タイム 定価: 300円(税別)  
※本紙の掲載記事の無断転載を禁じます。 ※掲載内容・広告のお問い合わせは、編集部まで

# 車両制限令を 守りましょう!!

道路は、一定の構造基準によって作られており、構造の保全、交通の危険防止のため、  
通行する車両の大きさや重さの最高限度(一般的制限値)が定められています。  
「車両制限令違反」とは、車両全体の重量が一般的制限値又は許可された限度値を超過することをいいます。

## 一般的制限値



## もし車両制限令に違反してしまったら...

車両制限令に違反した場合、道路管理会社から「措置命令書」もしくは「指導警告書」が、運転手へ交付されます。交付された場合は、速やかに会社へ報告して下さい。報告をしないままにしておくと、点数が累積され、会社の方へ「ペナルティ(割引停止等)」が発生する可能性があります。



**会社へ報告する**  
会社が組合へ報告し、適切な処置方法を検討

**会社へ報告しない**  
累積点数が増え、会社の方へペナルティが発生



## 国民のために、 正直な政治を取り戻す。

ここ最近、さまざまな問題が噴出している日本の政治。その現実に失望しつつも公平公正な政治の復活を望んでやまない国民に寄り添い、崩れつつある民主主義を立て直すために奮闘している一人の戦士がいます。日本に二大政党制を打ち立てるべくこの世界に飛び込み、野党党首として現政権に戦いを挑み続ける玉木雄一郎衆議院議員に、政権交代への熱意やアフターコロナ時代の取り組みなどについて伺いました。

※インタビュー内容は2020年6月12日時点のものです。

衆議院議員 国民民主党 代表

たまき ゆういちろう  
**玉木雄一郎** 氏

【プロフィール】

1969年香川県大川郡寒川町（現さぬき市）生まれ 1993年東京大学法学部卒業 同年大蔵省（現財務省）入省 1997年ハーバード大学ケネディスクール修了 同年外務省へ出向 2000年金融庁へ出向 2002年内閣府へ出向、行革大臣秘書専門官就任 2005年財務省を退官 2009年衆議院初当選、現在4期目 2018年国民民主党代表就任 趣味はカラオケとギター 2年前にYouTube「たまきチャンネル」を開設し、現役国会議員YouTuberとしての顔も持つ <https://www.tamakinet.jp/>

【聞き手】 本誌編集長 小松 宣俊

### 対決よりも解決

—今日は玉木代表に、いろいろなことをお聞きしたいと思います。中には失礼な質問もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

玉木 こちらこそ、お手柔らかにお願いします。

—ではまず、国民民主党とはどういう立ち位置の政党なのか教えてください。

玉木 2年前の結党時に、党として二つのことを明確にしました。一つは右に左に偏らない、改革中道であることです。今、日本にも極端な主張をする政治家や政治勢力が出てきています。そういった主張は耳目を引くかもしれませんが、国民生活の安定に寄与することはありません。国民民主党では政治は国民のためであるという考えから、多様な価値観を取り入れて、時代の変化や国民が直面している問題に現実的に向き合う改革中道という立ち位置を定めました。

もう一つは、対決よりも解決を重視することです。とすれば野党は反対意見ばかり言いがちですが、我々はしっかりと対案を出すことで、問題解決を目指すという立ち位置を決めました。

—ほかの野党との違いは。

玉木 立憲民主党は野党第一党なので、立場上、政権に批判的な部分を中心にならざるを得ないのですが、我々は

第二党であることを生かして新規の政策をどんどん打ち出しています。いわば、政治における新商品開発部門みたいな存在です。

共産党との違いは、我々は外交や安全保障の問題にも力を入れているため、現実的なアプローチを取っていることです。日米同盟は非常に重要だと考えていて、自衛隊をはじめとする国防の新たな在り方を常に模索していることが、共産党との大きな違いです。

### 一律10万円をいち早く

—新規の政策とは例えばどんなものですか。

玉木 最近のことで言えば、10万円の特定額給付金に関する政策です。

—えっ、あれは公明党の政策じゃなかったのですか。

玉木 最初に提案したのは国民民主党

です。3月の初めごろに給付が必要と主張し始め、そのとき公明党の幹部は「玉木さん、全国民に一律10万円だなんてそんなこと、できるわけじゃないじゃないですか」と言っていましたね。

業者をやっているんだと考えています。我々の出したアイデアが、与党ブランドになっても構いません。それで国民が救われるのであれば。

—それが、いつしか公明党の手柄になってしまったと。

—ところで予算委員会に臨むときはリハーサルをするのですか。

玉木 新聞やネットで調べていただければ、最初に言い出したのは国民民主党であることが分かります。そうそう、先日（6月10日）の衆議院予算委員会で、「もう一度10万円の給付をやるべき」と申し上げたときのことです。安倍総理は答弁で「今回、玉木議員も従来から主張しておられた10万円の給付に、我々切り替えたところでございます」とおっしゃいました。安倍総理はちゃんとご存知でしたね（笑）。

—あれって質問でございみたいな感じもするのですが。

—おいしいところを取られて腹が立ちませんか。

玉木 事前に通告はしますが、通告なしで問いただすこともよくあります。そういうときは、安倍総理にしか答えられないようなことを聞くようにしています。

玉木 うちのOEM（自社で製造した製品を他社のブランドで販売する製造

10万円追加云々は通告なしで質問しました。そういったギリギリのやり取りというか、政治家同士の魂のぶつかり合いを国会でやらないと、いい政策なんて実現できないですよ。

また、わたしは生活や仕事など、さまざまな現場から上がってくる声を質問に反映させるよう心掛けています。自分は大議員であり、国民の代弁者にほかなりません。そうである以上、国民の声を伝えることが己の使命だと考えるからです。



### 経済政策に強み

― 国民民主党では、ほかにも新型コロナウイルス関連の政策を提案されていますね。

**玉木** 超長期のコロナ国債発行ですね。これは100年国債により100兆円規模の資金を調達し、100年に一度の未曾有の危機を救うという政策です。

また、国民民主党では休業補償についてもぜひ前から主張していました。お店の方に経済的な支援をして3カ月休んでいただき、その間に危機をしっかりと終わらせましょう。と。初期の段階でこういった処置が取られていれば、その後の状況は大きく変わっていたかもしれません。

― お話を聞いていると経済政策に強いような印象を受けます。

**玉木** わたしは財務省出身で、代表代行を務める大塚耕平参院議員は日本銀行の出身ということもあり、結党時から経済政策に特に力を入れてきました。野党は経済政策に疎いというイメージがありますが、国民民主党では税制も含めて次々と新しい経済政策を打ち出しています。

― 玉木代表から見ると、最近の政府の経済政策はいかがですか。三本の矢は全部折れてしまったような感じがしますが。

**玉木** おそらく役人の言うことを聞いてばかりいるから、うまくいっていないんだと思います。昔であれば、役所が海外のモデルケースを踏襲してもうまくいった

今後日本もそうならないとは限りません。ですからもう一度、中間層の復活を国家戦略に掲げなければなりません。

― 行き過ぎたグローバリズム、東京一極集中、富の偏在、この三つを早急に見直した上で、新しい国家像を示す必要があるということですね。

**玉木** その通りです。また、デジタルトランスフォーメーション、つまりITなどによる社会変革を日本がリードするための戦略も不可欠です。そこには技術力を高めるとともに、例えば「データ基本権」を確立させるための取り組みも必要です。

昨今、SNS上の誹謗中傷や就職情報サイトの内定辞退率データ販売問題などネットでの個人情報データの管理が大きな社会問題になっています。健全なデジタル社会を築くためには、自分に関するデータを自分できちんと管理できる権利を確立させることが重要です。今後は「データ基本権」についても、政策として体系的に打ち出していきます。

### 人づくりは国づくり

― 国民民主党は教育問題にも熱心だと聞いています。

**玉木** はい。特に理工系の人づくりが急務だと考えています。先ほどデジタルトランスフォーメーションの話をしました。それを支える人材が不足しているのが

のようですが、今は優秀なモデルや模範解答がどこにもない時代です。そうであれば、やはり政治家がアンテナを張り巡らせて自分で情報を集め、自分の頭で考え、そして自分の責任で決断をしなければなりません。そうしないと日本は良くなれないし、世界の中で二等国になってしまいますよ。

### コロナ後の三課題

― 今後、党として最も力を注いでいくことは何ですか。

**玉木** やはりアフターコロナ対策ですね。今回のコロナ禍で、日本は三つのことを学びました。一つはグローバリズムには負の側面があるということです。海外生産や



日本の現状です。特別定額給付金や持続化給付金のオンライン申請でトラブルが起きていますが、その理由の一つが、ちゃんとしたシステムを開発できる技術者がいないということです。

日本の理工系学部への進学率は約23%で、60%を超えるドイツや韓国に大きく差をつけられています。このままいけると優秀なIT人材が枯渇し、そうすると日本はこれから食べていけなくなる

ます。わが国は新しい時代に合わせた人づくりができなくなっている、つまり国家の基礎体力を落とし続けているのです。

― ITというと中国では新型コロナ問題が起きると、すぐさまオンライン教育を始めていましたね。

**玉木** 日本では数カ月間休校させましたが、公立校でのオンライン授業はほとんど行われませんでした。これではIT

輸入に頼りきると、いざというときに必要な物を自国でつけないという危険性が高まります。例えば食料やエネルギーがそうですし、マスクのような消費財も同様です。今後は中国をはじめ、過度の海外依存から抜け出すための戦略が必要

― 現在の日本の食料自給率はどれくらいですか。

**玉木** およそ38%まで下がっています。せめて50%、自分たちが食べる物の半分は自分の国で生産できる体制を整えることが急務であり、そのためには国がもっと支援を強化すべきです。カネを出して世界中から食料を買ってくるという幻想の時代は、もう終わったのですから。

― なるほど。では残りの二つは。

**玉木** 東京一極集中は非常に危険ということ。東京はどこに行っても3密で、感染症の危機に対して非常に脆弱です。また災害にも強くありません。これからは本気で、自立分散型の地方分権国家をつくる必要があります。

そして三つ目は、富の偏在が人の命を左右するということです。これはアメリカなどで多く見られたことですが、黒人やヒスパニックの所得の低い人ほど新型コロナウィルスでたくさん亡くなっています。一部の人はとても豊かになる一方、多くの人が貧困層となって感染症などのリスクにさらされているのが世界の現実であり、

スキルだけではなく、基本的な学力も伸ばすことができず、世界との差は広がるばかりです。

― 国内でも学校間格差が心配です。

**玉木** 都会にある私立の進学校であればオンライン教育は可能でしょうが、地方の公立校ではまず無理でしょう。どんな地域のどんな家に生まれても、教育だけは平等に受けられるようにしておかなければなりません。そうでないと教育格差が生徒所得の差につながり、それが貧困格差となる。そんな負のスパイラルがまさに日本で起き始めているのです。それを断ち切るために、感染症拡大時や災害発生時にもすべての子どもが安心して学べる環境を保障しておかなければなりません。

わたしは香川県の田舎出身で、小さいころから中央と地方との格差を実感していました。そのときに抱いた田舎者根性を今も大切にしています(笑)。だからこそ地方の子どもの教育水準が、都会の子どもに比べて低いということが絶対にあってはならないと、今でも強く思っているのです。

― 9月入学にするかどうかより、こちらの方がはるかに重要な問題ですね。

**玉木** おっしゃる通りです。わたしは、人づくりなくして国づくりなしと考えています。現在、国民民主党では、IT人材の育成や教育格差の解消などの問題に一丸となって取り組んでいるところです。



二大政党が切磋琢磨

— モリカケに始まり、サクラ、カワイ、アベノマスク、クロカワなど、最近の政権に関するニュースは見ていてイヤになるものばかりです。玉木代表はどのように受け止めていますか。

**玉木** まずは、情報公開をきちんと進めてもらいたいですね。今の政権は、文書を「つくらない、隠す・改竄する・破棄する」ことが当たり前になっていて、これでは公平公正な政治や行政など成り立つわけがありません。自分たちの親しい人や団体への利益誘導がこれ以上続くと、国の正義が崩れてしまいます。国民に対して正直な政治を取り戻すには、やはり政権交代しかありません。

次の選挙はぜひ政権交代を目指す選挙にしたいですね。2009年の民主党時代に一度政権交代を成し遂げましたが、もう一度本格的な政権交代を実現したい。

— 本当にできるのですか。また、人材的に政権運営は可能と思いますか。

**玉木** やらないといけないでしょう。人材についてはまったく問題ありません。かつて大臣、副大臣、政務官を経験した者も多数いますからね。もちろん世代交代は必要ですが。

— 玉木代表はもともと大蔵省(現財務省)のキャリア官僚だった方です。そんな

方がなぜ自民党からではなく、当時(2005年)野党だった民主党から政治の世界に飛び込んだのですか。

**玉木** 財務省を退官する3年ほど前に、わたしは出向先の内閣府の役人として小泉内閣を支えていました。そのとき自民党は既得権益にがんじがらめで、時代の変化に合わせた政治ができていないということを感じました。だからこそ、自民党以外の選択肢を国民に示したいと思ったのです。二大政党が切磋琢磨することで、国民に対してより良い政策を実現する、そんな政治の在り方をつくりたかったのです。

公平公正な競争がないと、権力は絶対に腐敗します。そうさせないためにも、自民党以外に政権を担える党が必要

です。  
— はたから見ていると、野党同士で主導権争いをしているように思えてしまうのですが。

**玉木** そんなつもりは全然ありません。アフターコロナの国家像についても政策論争を戦わせた上で、考えが一致するのであれば他党と一緒にやればいいし、そうでなければ別々にやればいいというスタンスです。無意味な勢力争いをする気などまったくありません。また、選挙対策のためにこちらの理念を曲げてまで、他党と合流する考えも毛頭ありません。そういうことをすると、国民に見放されるだけ

ですから。

— 将来は総理大臣の座を目指しているのですか。

**玉木** 公党の党首を務めている以上、当然トップを目指しています。

— 総理大臣になったらどんな社会にしたいですか。

**玉木** すべての人に等しくチャンスがある社会、そして、年を取っても安心して暮らせる日本をつくりたいですね。今の世の中の世代の人も不安だらけでしょう。この先どうなるか分からないから、お金を貯めるばかりで使わない。これでは経済が小さくなるばかりですよ。

10歳から35歳までの人の死因の第1位が何だかご存知ですか？

— 何でしょうか。

**玉木** 自殺です。まず、この現実を政治が変えなければなりません。若い人が安心して希望を感じることができなければ、この国に未来はありませんよ。



なっているSNSを。

— 政治のことをよく分かっているという芸能人が偉そうなことを言うな、という批判もありますか。

**玉木** それはナンセンスな批判です。わたしは下手だけピアノを弾きますが、それに対してプロでもないのに弾くなど批判するのと同じです。おかしいなと思ったら、知識が不十分でもいいから自分の考えを発信したらいい。

— ところで、休みの日は何をしているの

パフォーマンスはNG

— ここまでの話で「国民民主党はしっかりやっつるじゃないか」とあらためて思いました。それなのに、なぜ支持率が上がらないのでしょうか。どの世論調査を見ても大体1%です。

**玉木** 我々の支持層は10代から30代までの若年層で、そういった人たちに限れば10%を超えることもあるのですが……やはり、あまり知られていないというのが現状です。野党第二党なので、地上波など既存のテレビメディアに取り上げられることが少ないですからね。ただ、ネットで我々の政策を積極的にアピールすることでコアな支持者を増やしている

ので、今後はさらなるアピールが必要

です。  
— それは何か印象的なパフォーマンスを行うといったことを含めてですか。

**玉木** パフォーマンスに走る政治そのものを変えなければならぬと思っています。それはいいですね。支持率を上げるために目立とうとすれば、政治のレベルが下がってしまう。それこそが小泉政権以降の日本の政治の劣化要因だと思っので、我々はやはり、政策の中身をしっかりとアピールすることで国民の支持を取り付けたいと考えています。

— 党名を変える考えはありませんか。例えばもつと分かりやすい名前前に。

ですか。

**玉木** この世界に入って休んだことはないですね。だから家族からいつも文句ばかり言われています(笑)。最近では新型コロナウイルスのためにできていませんが、基本的に週末は地元香川の選挙区を回っているいろいろな人の声を聞いたり、地元で国政報告会を開いたりしています。なので休日家族と過ごすことはほとんどありません。申し訳ないと思いますが、公に尽くすことが自分の使命だと思っっているので仕方ないですね。

— 最後に玉木代表の座右の銘を教えてください。

**玉木** 「念ずれば花開く」です。何ごとも強く思えば、必ず実現するという意味の言葉です。

19世紀から20世紀にかけて活躍したドイツの社会学者、マックス・ウェーバーが言ったように、政治は硬い岩にじわじわと穴を開けていくような作業です。すぐにはいかないことも多いですし、本当に思うようにいかないことばかりです。それでも忍耐、忍耐、また忍耐。より良い政治を実現するには、何ごとも粘り強く取り組むしかありません。

— 玉木代表と国民民主党の今後の活躍に期待しています。今日はお忙しいところ、貴重なお時間をいただきありがとうございます。

**玉木** ありがとうございます。

おかしいを忘れない

— わたしを含む国民の多くが、国民のための正直な政治の復活を心から望んでいます。そういった人に何かメッセージはありますか。

**玉木** 政治家の言葉や振る舞いに注意してください。そしておかしいと思ったことを、ぜひ次の選挙まで覚えておいてください。東京高等検察庁検事長の定年延長は、明らかにおかしいと多くの人が思っているのに、国会が閉じられるとおそらく、みんなそのことを忘れてしまう。その結果、安倍政権が好き勝手できるようになる。これは民意をなめているのと同じです。そうさせないためには、選挙でこれまでと違う結果を突き付けるしかありません。ですから、おかしいと思ったことをちゃんと覚えておいて、その思いを投票という具体的な行動で示すことが非常に重要です。そもそもこの国の最高権力者は国民ですからね。

— 定年延長問題ではSNSが大きな役目を果たしましたが、これについてどう思いますか。



★輝き Interview★

坂本 わたしも和歌山生まれなので関西人の人懐っこさはとても心地いいし、ありがたく感じています。知らない人に「七菜ちゃん、元気？」と言われ、「知り合いにこんなおばちゃんいたかな？」と思うこともしょっちゅうです(笑)。



坂本 SNS上での誹謗中傷も社会問題になっていきます。

坂本 言葉に携わる者として、本当に深刻な問題だと思っています。アナウンサーになつて間もないころ、先輩と話をしていた「その言葉は誰も傷つけないか?」と言われたことがあるんです。よかれと思って何気なく使った言葉が、もしかすると誰かを悲しませるかもしれない。それがテレビで発した言葉なら、取り返しがつかないこと



©TVO

【インタビュー写真】 Photographer 中島 真 (STUDIO 713)

★ゆつくり分かりやすく

— 現在出演中の「やさしいニュース」はタイトルが独特ですね。

坂本 タイトル通り、高齢者から小さな子どもまであらゆる年代の方に「やさしい」ことを目指した番組です。どのようなニュースであれ難しい専門用語は聞き慣れた言葉に置き換え、できるだけゆつくり話すことで、毎日の出来事を分かりやすく伝えるように努めています。

— 「伝わっている」という手応えはありますか?

坂本 休日に商店街を歩いていると、お店のおばあちゃんやおじいちゃんに「いつも見てるで」とか「この間の放送よかったわ」と言われることがあるんです。そういう言葉を聞くと少しホッとします。同時に、どんな方々にとつても、より分かりやすく政治や経済のニュースを伝えるためにどうすればいいのだろう、と常に問題意識を持つよう心掛けています。

— 気軽に声を掛けてくれるのは関西人ならではのですね。



©TVO

誰にもやさしく、誰からも信頼される。  
そんなアナウンサーになりたい。

*Nana Sakamoto*

テレビ大阪 アナウンサー  
さかもと なな  
坂本 七菜さん

和歌山県出身 関西学院大学卒業 NHK和歌山放送局を経て2019年にテレビ大阪入社  
現在『やさしいニュース』(月～金/午後4時44分～)、『おとな旅あるき旅』(土/午後6時30分～)などに出演中

1982年の開局以来、独自性が光る番組づくりに取り組み続けるテレビ大阪(TVO)。2019年より同局でアナウンサーを務め、テレビ大阪ならではのユニークなニュースやバラエティで活躍中の坂本七菜さんに、仕事への思いやアナウンサーになったきっかけについて伺いました。



『やさしいニュース』ホームページ

<https://cdn.tv-osaka.co.jp/yasashii/news/>

『おとな旅あるき旅』ホームページ

<https://www.tv-osaka.co.jp/ip4/tabii/>

★コロナ禍でテレワーク

— 今年のニュースは新型コロナウイルスの報道で持ちきりです。

坂本 そうですね。新型コロナウイルスについては、長期戦になると思うので、今後日々刻々と更新される情報を正確に分かりやすくお伝えすることで、視聴者の方と一緒に危機を乗り越えていきたいと考えています。

— 在宅勤務をされることもあるのでしょうか?

坂本 はい。各アナウンサーが自宅で視聴した番組の内容と、そこから得た気付きなどをオンライン会議で発表し合ってみるなど議論をしています。視聴する番組は自局・他局を問わず、わたしの場合は各局のニュースを以前よりも深く見るようになりました。また、テレワーク時は大阪府知事の記者会見などの内容を逐一、ノートに書き取ることで整理して頭に入れるようにしています。

— SNS上での誹謗中傷も社会問題になっていきます。

になるかもしれません。ですから言葉一つにしても、そのニュースの背景にどんな人がいるのか思いを巡らせた上で、慎重に発しなければならぬと考えています。

— 視聴率は気になりますか?

坂本 数字は努力の成果の現れだと思うので、毎日細かに確認しています。少し難しいニュースを伝えたときは、その項目が放送された時点の視聴率を確認し、数字が低いときはどう伝えればよかったのかについて考え直すようにしています。場合によってはそのニュースを読み直している様子を自撮りして、その動画を家族に見てもらうこともあります。



★大スターのオーラに感動

—バラエティでは三田村邦彦さんと共演されています。

**坂本** 『おとな旅あるき旅』という番組で、三田村さんのお相手を務めています。この番組は「人生を楽しむおとなたちに贈る、ゆったり、のんびり、ちょっとぜいたく、やすらぎの旅」をコンセプトに、いろいろな町に出掛けてその土地の魅力を再発見するというものです。三田村さんを地元の和歌山にご案内したときは本当にうれしかったですね。

—三田村さんが自然体で見ているところが好きです。

**坂本** 三田村さんはどこに行っても大人数で、すぐに現地の人に声を掛けられるんです。そんなときもニコニコされて

ていて、見ているわたしも幸せな気持ちになります。

—これまでに多くの著名人と会われたと思いますが、最も印象的だった人は？

**坂本** ハリウッドスターのハリソン・フォードさんです。2017年に公開されたSF映画『ブレードランナー2049』のプロモーションで来日された際、インタビューに帯同させていただきました。ホテルのスイートルームにハリソン・フォードさんが入ってきた瞬間、そのオーラと何とも言えない空気に圧倒されました。洋画好きなので、映画字幕翻訳家の戸田奈津子さんにお会いできたのも嬉しかったです。

—ニュースやバラエティ以外にチャレンジしたい番組は？

**坂本** 観るのもするのもスポーツが大好きなので、いつか世界レベルのアスリートにインタビューできるような番組に出演したいですね。

—ドイツまでサッカーを観に行かれたそうですね。

**坂本** 学生時代にプロリーグのブンデスリーガ観戦に行きました。浦和レッズなどで活躍した細貝萌選手ほかいもが所属していたヘルタ・ベルリンの試合を観に、ドイツ語も英語もろくにできないのに一人で現地に行ってきたんです。そのとき、周りの人が「ボンガイ！」「ボンガイ！」と連呼して盛り上がっているのを見て、同じ日本人として誇らしく思いました。



★寝言でニュース読み

—アナウンサーになりたいと思ったきっかけは？

**坂本** わたしは和歌山の田舎町に生まれ小さいころから近所の方々に可愛がってもらいながら育ちました。毎日学校であったことを隣のおばちゃんに聞いてもらったり、名物のミカン取りの季節になるとそのPRに参加したりと、いろいろな人と話するのが大好きだったんです。それで大学生のとき、この性格を生かして地元の魅力テレビを通して伝えたいと思うようになり、アナウンサーという職業に興味を持ちました。放送局以外に航空業界やスポーツ用品メーカーの就職試験も受けましたが、最終的に和歌山の放送局での仕事に就きました。

—2019年にテレビ大阪に移られました。

**坂本** 新しいことにチャレンジしたいと思ったんです。でも、最初はやはり不安がありました。わたしみたいな田舎育ちの人間が大阪のような大都会で通用するのだろうかとか、報道のキャスターの仕事からしばらく遠ざかっていたので、ちゃんとニュースを読めるだろうかとか。しかし悩んでいても仕方がないので、とにかく行動ありきで今日に至っています。

—これまでのお仕事の中で、アナウンサー冥利に尽きると思ったことは？

—10年後の自分を語るとしたら？

**坂本** 坂本なら何とかしてくれる、坂本に任せたら安心とスタッフに思ってもらえる存在になりたいですね。万が一アナウンス中に緊急ニュースが入っても、その内容を冷静かつ正確に伝えられるアナウンサーになりたいです。

—最後に好きな言葉を教えてください。

**坂本** 「小さな積み重ねが、後に大きな変化を生む」です。決して器用なタイプではないので、やりたいことがすぐにできるようになるということが、わたしにはありません。練習をしても目に見える変化がなかなか現れず、焦ることもあります。いずれ大きな変化になると信じて日々、コツコツ努力をしていきたいと思っています。

**坂本** 夕方の番組を見てくださっていたご年配の方から、毎日放送時間になるとテレビの前に座り、「こんばんは」とあいさつをするわたしに「こんばんは」と返事をするのが楽しみです、と声を掛けていただいたことがあります。そのとき、自分が誰かの日常の支えになっていると思い、とてもうれしかったのをよく覚えています。それと同時に、だからこそきちんと情報を伝えなければならぬ、誰からも信頼されるアナウンサーになろうと強く思いました。

—アナウンサーになって変わったことはありますか？

**坂本** 番組を通してさまざまなことを発信したいという思いから、何気ない発見を大事にするようになりました。例えば、季節の移ろいを知らせる花の彩りや香りを敏感に感じたりすることで、毎日が以前よりカラフルになったような気がします。その一方で、古いブロック塀を見たら地震発生時の危険を第一に考えるなど、日常のあらゆることを報道目線で見つめるようになりましたね。

—アナウンサーとしてもっと頑張らねばと思いませんか？

**坂本** 関西弁の矯正です。これまで和歌山、大学のある兵庫、現在の大阪というように関西圏でしか過ごしたことがないので、関西弁のイントネーションが抜け切っていないんです。その克服のために、日々アナウンスのトレーニングに努めると

ともに、気になることがあればスマートフォンに入れたアクセント辞典ですぐ調べられるようにしています。これは余談ですが、寝言を録音できるアプリがあるんです。たまに寝ながらニュースを読んでいるみたいで、それがどんな内容なのか一応チェックしています(笑)。

—番組を「観」になったご家族の反応は？

**坂本** 残念ながら地元では放送されていないため、動画を送って見てもらっています。おおむね好評です(笑)。以前『おとな旅あるき旅』のロケで地元に戻ったとき、こっそり見学に来た祖母が「三田村さんと歩いているのはうちの孫なんです」と周りの人に言い始めたときは、さすがにちょっと恥ずかしかったです。祖母に仕事をしている姿を見てもらえて嬉しかったです。

★日々、コツコツと努力

—今後、どんなアナウンサーを目指したいですか？

**坂本** 近所のお姉ちゃんと思ってもらえるような、親近感のあるアナウンサーでいたいと思っています。それといつまでも現場を大切にしたいですね。残念ながら今は外に出掛けにくい状況ですが、また平穏な日々が訪れれば積極的に外に出て行きたいです。そして五感を使ってその土地を知り、分からないことは地元の方の



©TV0

# 「自動車関連総合サービス業界」の雄として、お客さまの車両管理をワンストップでサポート

メンテナンス付きオートリースや、独自開発の給油カードによる燃料販売を展開している株式会社イチネン。今から90年前に大阪で石炭の個人商店として産声を上げ、現在では日本各地に営業拠点を有する「自動車関連総合サービス業界」の第一人者として、法人顧客の車両管理業務をトータルに支えるイチネンの代表取締役社長・黒田勝彦氏に、その取り組みや会社経営への思いについて伺いました。

「聞き手」本誌編集長 小松 宣俊

## 車を貸すだけでは終わらない

イチネンさまでは主に法人顧客向けのオートリースと燃料販売を展開されています。まず、オートリースの特徴から教えてください。

**黒田** 弊社では単に自動車をお貸しするだけでは終わらない、メンテナンス付きオートリースを主力としています。オイル交換をはじめとするスケジュール点検から、12月片点検などの法定点検、さらに車検までをトータルに展開しているのです。また納税や保険料

の支払い、さらに万一の事故対応なども担当しており、リース期間中の自動車に関するすべてを代行する、いわば車両管理業務全般のアウトソーシングであることが最大の特徴と言えるでしょう。これによりコスト面や業務面などお客さまの自動車保有に関する負担の大幅軽減を実現し、現在、日本全国で約8万5千台のメンテナンス付きリース契約をいただいています。メンテナンスだけを承っている自動車も約8万5千台あり、合わせて17万台の管理を担当させていただいています。

燃料販売には給油カードがあるようですが、これはどういったものですか？

**黒田** 日本全国のENEOSさまのサービスステーションで、お得な統一価格でガソリンや軽油をご購入いただけるというものです。今も多くの企業で、各営業拠点ごとに地元のお客様と契約するというスタイルが取られています。すると、燃料の購入価格はもちろん請求書などのフォームにバラツキが生まれてしまいます。また、一般に法人契約では掛け売りが多いため、現金販売よりも価格が高くなります。

弊社ではこのような幾つものムダを解消すべく、日本中のご店でも同じ価格で、しかもお得に給油できるカードを販売しており、これまでにおよそ20万枚のカードを発行しています。このカードを利用すると給油実績データも一元化されるので、経費分析も容易になると多くのお客さまからご好評をいただいています。ちなみにこのカードは約30年前にエッソ・スタンダード石油(現ENEOS)さまと共同開発したもので、現在幾つかある同種のカードの先駆けとなりました。

## 石炭から石油、そして現在へ

創業は1930年ですね。

**黒田** はい。祖父が起した石炭販売の個人商店「黒田重太郎商店」が始まりです。その後太平洋戦争による統制により休業に追い込まれ、戦後の1949年に業務を再開するときに個人商店を会社組織に変更し、社名を「第一燃料」に改めました。これは大阪地区で一番目に業務を再開したことを記念したもので、現在の社名「イチネン」はそのうちの「一」と「燃」に由来しています。



創業者 黒田重太郎氏

戦後、「石油の取り扱いを開始されました。黒田 最初は工場や銭湯などで使われる工業用石油を販売していました。その後、昭和

30年代にモーターゼーションが急速に進むとガソリンや軽油が主力となり、やがてサービスステーションの経営を開始します。これが一連の取り組みが、現在の燃料販売につながっています。サービスステーション経営は順調に進み、一時は大阪府下に十数カ所の店舗を構えていました。その一環として自動車の整備工場の経営も手掛け、これが現在のメンテナンス付きオートリースの開始につながったのです。

体力がなく、社会的信用も低かったため資金調達に大変苦労しました。資金調達にめどが付かないため、営業に「これ以上頑張ってください。そんな苦境を救ってくださいだったので、住友信託銀行(現三井住友信託銀行)さまでした。リース契約を担保にお金を貸してくださるようになり、そのおかげで1970年代の半ばごろにメンテナンス付きオートリースが軌道に乗るようになりました。

どういったふうになりましたか？

**黒田** 自動車の入庫が多い月もあればそうでない月もあるなど、整備工場の仕事には大きな波があり、経営が安定していなかったのです。それで、祖父から会社を継いだ父やおじたちが「何とかせんと」と考えていたところ、オートリースという当時としては新しい事業形態に巡り会い「これや」と思っただろうなんです。自動車のリースにメンテナンスを組み合わせてそれを広めれば、毎月の浮き沈みを解消できるにちがいない、と。それは1969年のことです。

そのころオートリースはまだ一般的ではなかったのでは？

**黒田** はい。ですから、父たちはお客さまにリースとは何かを詳しく説明することから商談を始めていたそうです。祖父は亡くなるまで「リースなんか商売になるんか」と心配していたようです(笑)。

ところでオートリースの基本は、最初に巨額の資金を投下して、それを長期スパンで回収するというものです。当初は弊社にあまり



株式会社イチネン 代表取締役社長

黒田 勝彦 氏

1960年 兵庫県生まれ 1983年 関西学院大学商学部卒業 1983年 株式会社イチネン・リース(現:株式会社イチネンホールディングス)入社2008年 株式会社イチネン代表取締役社長(現任)、株式会社イチネンホールディングス取締役副社長(現任) 2014年 野村オートリース株式会社取締役 イチネンBPプラネット株式会社取締役 2015年 株式会社イチネンTDリース代表取締役社長(現任)



フェイス・トゥ・フェイス

オートリースにはライバルが多いと思いますが、差別化戦略を教えてください。

黒田 大きく分けて二つあり、一つは大手がやらないこと、大手にできないことに特化することです。競争相手はメガバンク系の子会社が多く、そういった企業は経営効率を重視して拠点の統廃合を進めています。また、顧客との連絡にメールや電話が多く使われています。そこで弊社は「地域・顧客・現場密着」を打ち出し、お客さまに寄り添う営業にこだわっています。大都市だけではなく、地方都市においても「フェイス・トゥ・フェイス」、つまりお互いの顔が見える関係づくりを基本に、お声掛けがあればすぐに駆けつける体制を整えているのです。

もう一つは？

黒田 やはりメンテナンス付きを重視することです。弊社のオートリース契約中、約85%がメンテナンス付きで、これは業界平均の60%を大きく上回っています。自動車をお貸しするだけではなく、5年あるいは10年の間、お客さまの車両管理業務全般をサポートし、



1980年のメンテナンス風景 ガソリンスタンド1号店

それはそれでいいのです。しかし、何の努力もせずに自分の使命を果たせなかつた場合、わたしはそれを決して許しません。そういった意味で、経営者としては厳しい方なのかもしれないですね。

そもそも約束を守ることは創業以来、全社員が実践してきたことであり、これがベースとなつて現在の「イチネン」があるのだと考えています。今日までの90年の歴史を振り返っても派手な行いは一切なく、一人ひとりの社員が自分たちのすべきことをコツコツとやってきただけです。その結果がお客さまの信頼となつて一つひとつ積み重なり、今に至っているのだと思います。

社員との意思疎通で心掛けているのは？

黒田 やはり「フェイス・トゥ・フェイス」の付き合いです。そうしないとこちらの伝えたいことが伝わらないし、みんなの考えもこちらに伝わってきません。お互いに顔を付き合わせる場として、数年前から月に2回、6人ほどの仲間と食事をしながらいろいろなことを話し合うランチミーティングを行っています。これには管理職、一般職、派遣社員、契約社員の別を問わず参加してもらっています。また月に1回、数名の管理職と一杯やりながら話をする車座ミーティング、同じく月に1回、4、5名の若手社員とお酒を交えて「ミニミニセッション」を図るヤングミーティングを開催しています。最近では新型コロナのためにお休みしていますが、事態がある程度収束すれば再開するつもりです。

何かお困りごとがあればそれをいち早く察知して課題解決に全力を尽くす。このやり方をずっと大切にしてきたことから、弊社では数年前から自分たちの事業を「自動車関連総合サービス業」と位置付け、この分野の雄となることを目指しています。

新型コロナウイルスの影響はいかがですか？

黒田 長期的に見ると、弊社の事業に特段大きな影響を及ぼすことはないと考えています。今回のコロナ禍をきっかけに一部リモートワークを導入しましたが、弊社の強みはやはり「フェイス・トゥ・フェイス」による痒いところに手が届くサービスの提供です。今後はリモートワークを利用しながら、お客さまとより密接な関係をどうつくるかが一つの課題になると考えています。また、コロナリスクを分散させるためにも、地方の拠点を増やそうと考えているところです。

これは目先の課題ですが、リース期間が満了した自動車の扱いに少々困っています。コロナ禍の影響で中古車価格が大幅に下がり、また買い手もない状態が続いているのです。今後は輸出などを含め、中古車を安定的に処理できるルートの開拓を急がなければならぬと考えています。

電気自動車の普及が事業に与える影響は？

黒田 この先、自動車がどう変わってもオートリースという概念はなくなるらないと考えています。ただ、メンテナンス環境は大きく変わるでしょうね。例えば電気自動車はこれまで以上に普及すると従来のメンテナンス技術では追いつかなくなり、いずれ車検制度

あと、朝の始業時に各部署を回つて全社員にあいさつすることを昔から続けています。まあ社員からしたら、迷惑かもしれませんが(笑)。現在の社員数は約300名で、これぐらいが全員の顔と名前が一致するギリギリの規模です。だからこそ、みんなとの距離感の近さを大切にしたいと考えています。

黒田社長の経営哲学を教えてください。

黒田 「感謝」の気持ちを大切にすることです。弊社の事業はお客さまはもとより、協力工場さまの存在なくしては成り立ちません。周りで支えてくれる方たちがいるからこそ我々があるということを事業活動の根幹として、いつまでも忘れないようにしています。わたしは高校と大学の7年間ラグビーをやつていて、その縁で強豪校の選手たちと交流する機会がよくあります。全国大会に出場するような選手たちは皆礼儀正しく、何よりも感謝の気持ちを大切にしています。親御さんや指導者の方の教育を通して、「自分たちがラグビーをできるのは誰かのおかげ」という意識をしっかりと身に付けているのです。彼らと接するたびに、組織のあるべき姿と感謝することの大切さをあらためて教えられます。ちなみに今ではラグビーは観戦専門で、体を動かすのはゴルフ場とスポーツジムが多いですね。

座右の銘は何でしょうか？

黒田 「信は力なり」です。これは弱小だった京都の伏見工業高校(現京都工芸院高校)ラグビー部を全国大会優勝に導いたことで

そのものも変わるかもしれません。このような変化に、日本全国にある協力工場さまが対応可能かどうかについて早急に検討する必要があります。また、協力工場さまの多くが人手不足や後継者不足に悩まされていて、この問題の解決なくして

日本全国に築いた

サービスネット

ワークの維持

は望めません。

そこで弊社ではこれを最優

先課題として、

3年前からさまざ

まなチェックを通して

サービスネットワークの再構築に取り組んでいます。また、人手不足対策の一つとして

IT化を進めているところです。

約束、感謝、信は力なり

イチネングループは前年度まで、17期連続で営業増益を達成されています。黒田社長も2008年からイチネンのトップとしてこの快進撃を率いられていますが、社長として最も大切にされていることは何ですか？

黒田 当たり前のことですが、約束を守ることです。わたしは常に社員に対して、やると約束したことは何が何でもやり遂げると言っています。しかし人間のやることなので、どれだけ頑張ってもできないことがあります。全力を出し切つて目標を達成できなかったら

知られる名指導者、山口良治先生の言葉です。

わたしは「感謝」と同じくらい「信」という言葉を大事にしている。「信頼の絆で心をつなぐ感動創造企業」というように、弊社の理念である「イチネンビジョン」にもこの一文字を取り入れています。自分たちが社会から信頼されることで初めて、社会から信頼される会社と巡り会うことができる。これからもこの気持ちを社員全員と共有していきたいと考えています。

では最後に、10年後に目指すべき会社像を教えてください。

黒田 10年後に弊社は創業100周年を迎えます。2030年はそれまでの100年とこれからの100年をつなぐ「ゴール」であり、スタートであると考えています。この新たな始まりを盤石なものとするために、今のうちに次代を担う人材を育てておかなければなりません。そして2030年には、新しいリーダーにバトンタッチできているようにしたいと考えています。

また10年後には、より多くの人に「イチネン」で働きたいと思ってもらえるようにしておきたいですね。採用活動をしていると毎年のように、弊社を志望しながら知名度や規模の面で勝る同業他社を選ぶ人がたくさんいます。そういった人にも「ここに入ってよかった」「みんなと一緒に定年まで働きたい」と心から思ってもらえるような会社に育てておくことが、10年後に向けての自分の使命だと考えています。



株式会社 イチネン

〒532-856 大阪市淀川区西中島4丁目10番6号  
 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町一丁目6番29号  
 ※本社屋建て替えに伴い、現在右記住所に一時移転中  
 TEL:06-6309-3001 FAX:06-6309-1906 <https://www.ichinen.co.jp/>





## グリーン周りがバンカーに囲まれた難易度が高い18番ホール



バンカーの  
美しさが際立つ  
14番ホール

グリーン左手前に  
構える池  
5番ホール

2017年秋から2018年にかけて、コースをリノベーションされた。日本ゴルフの父と呼ばれる大谷光明氏が、アリソン氏の流れを汲んで設計したオリジナルコースの良さを保ちつつ、世界的な設計家であるギル・ハンス氏の手によるリノベーションを実施したのです。

**コースの特徴を詳しく教えてください。**

コースは朝霞と知々夫という、二つのグリーンから構成されています。それにより、各ホールとも二つのベントグリーンがそれぞれのグリーンに対して異なる攻略ルートを持つ、いわば18ホールでありながら36ホールのような趣を有するコースになっています。特にすべてのパー3ホールには、それぞれのグリーンに対して別のティーが用意されていて、一つのホールで朝霞と知々夫、両方の景色を楽しむことができます。

会員は、創立当初からの伝統を非常に大切にしています。当倶楽部では英国式のジェントルマンズクラブの精神を倶楽部ライフの基本としており、あいさつや言葉遣いなどにおいても厳格なマナーが求められます。中には独自のゴルフマナーもありますが、それも貴重な財産として会員に受け継がれています。

服装については、プレー時は襟付きのシャツを着用いただき、半ズボンの方にはハイソックスの着用をお願いします。

グリーン周辺、さらにフェアウェイに深さのあるバンカーが多いのも、こちらのコースの大きな特徴と言えます。また、今回のリノベーションにより5・6・17番ホールに戦略的なウォーターハザードを設けました。

**最も難しいホールと、最も攻略性の高いホールはそれぞれ何番ですか？**

難易度で言えば9・16・18番ですね。中でもグリーンの周りがバンカーに囲まれた18番は難関中の難関で、正確に打てる自信がないと攻略は極めて難しいでしょうね。多彩な攻略ルートとバンカーの美しさが際立つのは、13・14・15番です。アリソン氏から設計哲学を学んだ大谷氏の意図を、ハンス氏が現代に見事によりみえらせてくれました。

**19番ホールである倶楽部ライフについて教えてください。**

2・5・17番です。この3ホールはロケーションが大変美しく、みずみずしい緑と四季折々の景色を眺めながらのプレーはまさに至福の時間です。当倶楽部でプレーする機会があれば、ぜひこの3ホールの美しさを満喫してください。

倶楽部ライフにビジネスを持ち込まないことが、伝統として守られています。それは地位や年齢に関係なく、皆同じ仲間としてプレーを楽しむ文化が息づいている証拠だと考えています。

**では最後に、黒須広報委員長お気に入りのホールを教えてください。**

昭和天皇もプレーを楽しまれた、「東京ゴルフ倶楽部」を訪ねる

# 創立より100年の時を超えて息づく ジェントルマンシップ



一般社団法人  
**東京ゴルフ倶楽部**

広報委員長 黒須一雄氏

東京ゴルフ倶楽部さまは、今から100年以上も前の1913年に現在は駒沢オリンピック公園となった地域（東京都世田谷区、目黒区）で開場されました。そのいきさつを教えてください。

そもそもきっかけは、後に日銀総裁から大蔵大臣となる政治家の井上準之助が、日銀ニューヨーク支店時代に覚えたゴルフに夢中になったことでした。その井上が、わが国の会員制社交クラブの草分けである東京倶楽部の仲間を誘い、駒沢にコースを造ったのです。40数名の初期メンバーには財界人のほか、皇族や華族の方も名を連ねていました。駒沢のコースは、日本人が日本人のために創立したゴルフ倶楽部の第一号であると言えます。



昭和天皇もお若いころに、その駒沢コースにてプレーを楽しまれたそうですね。

昭和天皇は皇太子時代の1915年ごろにゴルフを始められ、当倶楽部では1922年に英国皇太子が来日された際、親善マッチプレーを楽しまれた。これを記念して設けられた「摂政杯」と「プリンス・オブ・ウェールズ杯」という競技が、今も当倶楽部に受け継がれています。

ところが1932年に、コースは埼玉県朝霞に移転されました。

地代高騰のほか、技量の進歩などからよりレベルの高いコースが望まれたことが、移転の理由です。当時、朝霞は膝折という地名で呼ばれていた。それがゴルフコースにふさわしくないと理由から、当倶楽部の総裁であられた朝香宮殿下のお名前にちなみ、膝折は朝霞と改称されたのです。

朝霞では日本オープンをはじめ数々のビッグイベントを開催し、名実ともに日本はもとより東洋一と謳われるコースとなりました。コースを設計したのは英国人のチャールズ・ヒュー・アリソン氏で、彼がデザインした深いバンカーは後にアリソンバンカーと呼ばれるようになりました。



アリソンバンカー

倶楽部ハウスの名声も高かったようですね。

日本をこよなく愛したチエコ出身の建築家、アントニン・レーモンド氏が手掛けた白亜の倶楽部ハウスの存在も相まって、朝霞は東洋一のコースと謳われたのだと聞いています。ちなみに現在の倶楽部ハウスもレーモンド氏の設計によるものです。



朝霞コース 倶楽部ハウス

しかし朝霞のコースは短命でした。

はい。1940年に陸軍省に売却され、わずか8年で姿を消しました。同年に同じ埼玉県の狭山に、秩父カントリー倶楽部と合併し移転するものの、敗戦後に今度は駐留軍に接収されました。晴れて日本人運営の倶楽部に戻るのには1953年のことで、それからはずっと狭山で歴史を重ねています。

東京ゴルフ倶楽部さまは日本のゴルフの発展にさまざまな面で貢献され、現在もリーダー的な存在としてわが国のゴルフ界を牽引されています。

日本ゴルフ協会の歴代会長の多くが当倶楽部の会員です。これは競技者としてだけではなく、ゴルフ界を担うにふさわしい能力と品格を有する人材育成に力を入れてきた結果だと考えています。

お願いしています。ご来場の際、プレー終了後の倶楽部ハウス内ではジャケットの着用をお願いしています（7月〜9月を除く）。

**会員の方向士ビジネスのお付き合いもあると思いますが、名刺交換などが行われることはありませんか？**

倶楽部ライフにビジネスを持ち込まないことが、伝統として守られています。それは地位や年齢に関係なく、皆同じ仲間としてプレーを楽しむ文化が息づいている証拠だと考えています。

**では最後に、黒須広報委員長お気に入りのホールを教えてください。**



一般社団法人  
**東京ゴルフ倶楽部**

〒350-1335 埼玉県狭山市柏原184  
TEL.04-2953-9111 FAX.04-2953-9115  
<http://www.tokyogolfclub.jp/>

コロナ禍で顕著に現れたリスクは都市に人が密集することが原因です。また、グローバル化が被害を大きくしました。いずれも、効率性を追求した結果です。

今回のコロナ禍で「人流」が途絶えた姿は衝撃的でしたが、「物流」、その中でも命に関わる食料、エネルギーの途絶は起きませんでした。パニックが生じなかったのは、多くはこれのお陰でしょう。その点不幸中の幸いというべきで、世界中どこでもいつでもという物流ビジネスモデルに依存することは正しいのだろうかとか考えてしまいます。地域のもは地域で、自国のものは自国で、足りなければよその国にという重層化した物流メカニズムや価値構成が必要ではないでしょうか。

**都市化・集約化、グローバル化がもたらす弱点**

「想定外」を想定する
気候変動による洪水・巨大台風
巨大地震、津波
巨大噴火
未知の疫病の大発生
病虫害による農作物全滅
放射能汚染による大量避難・交通途絶
サイバー攻撃による都市機能途絶
貿易紛争による食料・エネルギー途絶
戦争
強権テロ国家の誕生
民族移動
…など

「想定外」とは想像もつかないものばかりでなく、自分には降りかからないだろうと油断しているものも含まれます。



コロナ後の  
社会と環境  
「想定外」の厄災に備えてく



**「想定外」のリスク**

コロナ禍は収束の傾向にありますが、再び同様の事態が起きることを否定できません。20世紀初頭のスペイン風邪は収束に約3年を要しましたし、今回のコロナ禍も、二次、三次の流行のリスクが指摘されています。

さらに問題なのは、リスクは無数にあることです。コロナ報道の陰で、警鐘を鳴らす二つの発表がありました。内閣府検討会が北海道から東北北部の太平洋沖で過去最大級の地震が発生すれば、最大30メートルの津波になると公表しましたし、中央防災会議は富士山の大規模噴火で、首都圏の鉄道停止が七都県全てで発生し、道路通行停止、停電のリスクを警告しています。気候変動、天変地異あるいはサイバー攻撃がもたらす「想定外」のリスクに対応できているでしょうか。

**「想定外」に向き合うヒント**

今回のコロナ禍で一番感じたことは、まず、社会からの遮断による孤立感、あるいは家族とのつながりの再認識だと思えます。会社から締め出されつながらなくてもネットだけという状況下で、頼れるのは、自分や家族と改めて感じたのではないのでしょうか。安心して暮らせる環境と人とのつながりがこれほど求められたことはありません。

その一方で、地域であるいはバーチャルに様々な形のコミュニティが活発に動き出し、新たなつながりが広がりました。ワークシェア、リモートワークが普及する中で、専業主婦にも新しく活躍の場が生まれました。地域で身近な人と助け合い、IoTを通じて遠くの人と助け合い、生きがい、やりがいを感じるケースも多かったと思えます。余った食材がネットを通じて取引されるなど、新しい流通も生まれています。

この二つは別のものではありません。安心して暮らせる環境と人とのつながりを求めて、様々なネットワークが輝き始めてます。個人や家族を核として、地域や友人、共通の関心を持った新しい仲間とつながっていくのが当たり前になりました。こうしたライフスタイルの変化は、「想定外」への対応のヒントとなります。



早稲田大学法学部教授  
(前環境事務次官)

もりもと ひでか  
**森本 英香** 氏



1957年1月生 大阪府出身。東京大学法学部私法学科、政治学科卒。1981年環境庁入庁、2017年7月から2019年7月まで環境事務次官。現在、早稲田大学法学部教授を務める。

内閣官房内閣審議官(原子力安全規制組織等改革準備室長)、原子力規制庁次長、環境省大臣官房長、環境省大臣官房審議官(自然保護担当)、内閣参事官等のほか、地球温暖化京都会議(COP3)議長秘書官、国際連合大学(UNU)上級フェロー、East West Center上級研究員(アメリカ)、地球環境パートナーシッププラザ(環境省と国連大学の共同施設)所長等。

環境基本法、里地里山法等の制定、環境省・原子力規制委員会の設立に関わるほか、福島の復興・再生、水保病・アスベスト被害対策、海洋プラスチック等循環資源対策等に携わる。

著書に「里地からの変革」(共著 1995年時事出版)、「続 中央省庁の政策形成過程」(共著 2002年中央大学出版)など

今回のコロナ禍で「非常態」が遠いものではないことが分かりました。そうすると「豊かさ」の価値基準が変わってしまいます。いかに高価なブランドものでも、いざという時に役に立たないものは値打ちが下がります。マスクというありふれたものが非常態では貴重品になりました。そこでは「安心感」が重要な

**新しい社会で実現する「豊かさ」の定義**

エネルギーや蓄電池、制御技術等を活用したエネルギーの自立化も必要でしょう。家庭や地域がタフになるには、日頃から「食」を支えあうコミュニティづくり、医療・教育の支えあいネットワークなどが安心のインフラです。地域の環境資源―豊かな自然や農産物、歴史や文化、人のつながり―を上手に生かしていくことがポイントだと思います。

「消費の中身も変わる。ブランドはその人の人生そのものを豊かにする」というふう

に打ち出している中「各国政府は世界の食料供給システムを正常に稼働させる必要がある」としています。一理ありますが、一方、フランスのマクロン大統領は、欧州が農業分野で「戦略的な自治」目指すべきと呼びかけています。これまでの効率重視の「規律のない偏った」グローバル展開に対する警鐘として捉えてはどうでしょう。自国の環境資源を最大限生かしているというのには健全な選択だと思います。保護主義、一国主義とは異なるものです。フランス経済学者のジャック・アタリ氏が「命を守る分野の国内総生産の割合を増やすべき」と言っているのも同趣旨だと思います。



**キーワードその②  
「戦略的グローバルリズム」**

5月9日の『The Economist』は、「各国政府が自給自足を目指すのは誤った方向」で

生物多様性は、生命の存続を賭けた仕組みです。多様性によって未知のリスクに対処し生き延びています。人の世界も同じで、「想定外」に対処するキーワードは「多様性」と「自律性」です。いろんな得意技をもった自律したコミュニティがさまざまな形でつながって共存することで、生存確率を高めることとなります。そのためにも、地域のコミュニティの再構築が必要です。

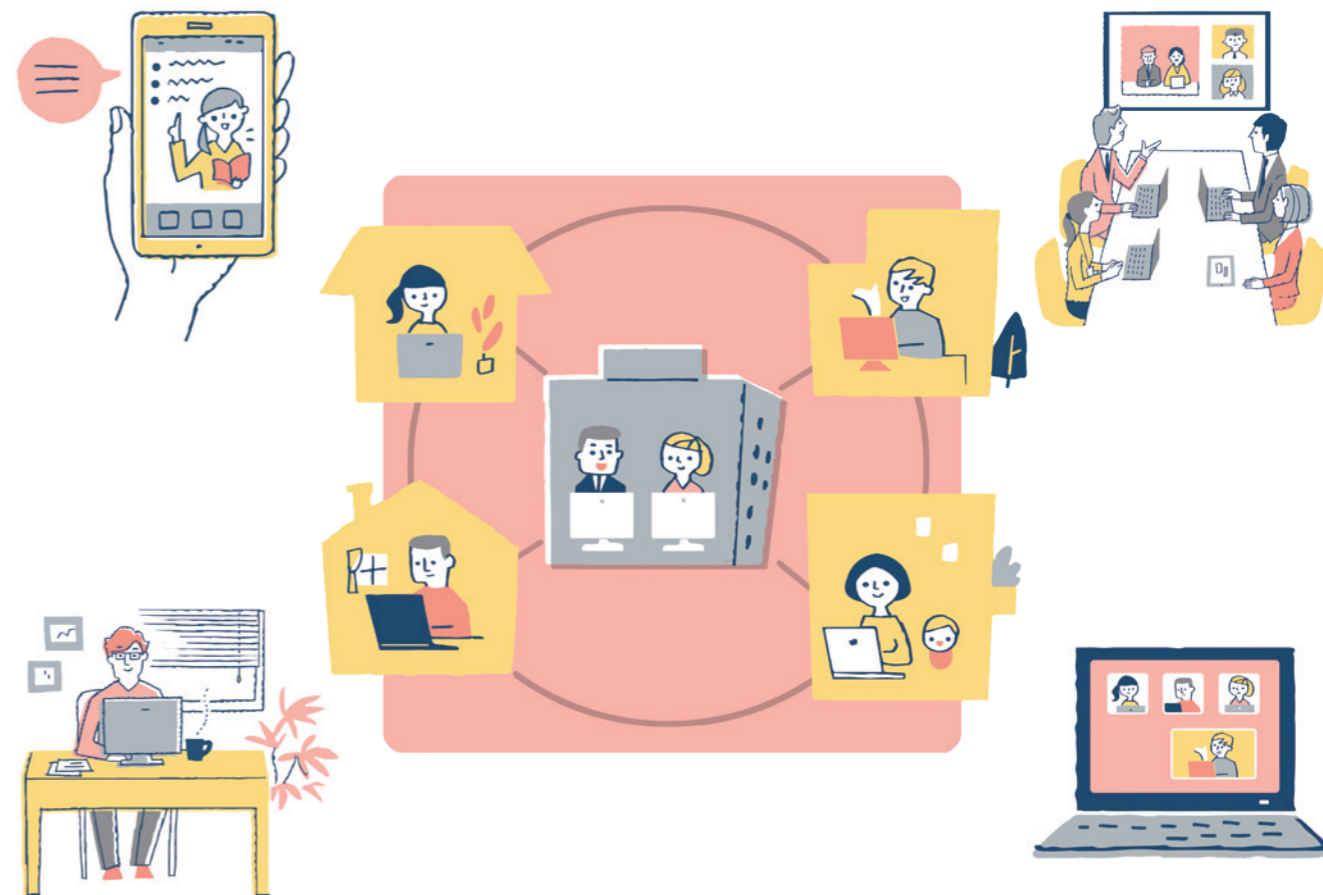
**キーワードその①  
「多様性」と「自律性」**

多様性を持った自律したコミュニティが発に活動して、安心して暮らせる地域社会を作る、同時にグローバルにも連携していく、そういったエコシステム(生態系)ができていくことが、柔軟に「想定外」のリスクに立ち向かう社会だと考えます。

そのためには、社会の仕組みから会社の仕組み、家の構造に至るまで、生活環境の「手直し」が必要などころは無数にあります。たとえば、会社や住宅の仕様一つとってみても、自律的なデザインとするには、テレワーク仕様、ワークシェア仕様のみならず、再生

**新しい社会を支える  
インフラの整備**

あり、世界人口の34%が深刻な食糧不足に直面している中「各国政府は世界の食料供給システムを正常に稼働させる必要がある」としています。一理ありますが、一方、フランスのマクロン大統領は、欧州が農業分野で「戦略的な自治」目指すべきと呼びかけています。これまでの効率重視の「規律のない偏った」グローバル展開に対する警鐘として捉えてはどうでしょう。自国の環境資源を最大限生かしているというのには健全な選択だと思います。保護主義、一国主義とは異なるものです。フランス経済学者のジャック・アタリ氏が「命を守る分野の国内総生産の割合を増やすべき」と言っているのも同趣旨だと思います。



# 新型コロナウイルス感染症の 流行と今後の行方、感染対策 第1波を経験して、これから如何に対策すべきか

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)について 今までに分かってきたこと

2019年12月から中国武漢市から広がった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、全世界に広がりが、約850万人が感染し、約45万人の死亡者が出ている(図1)。国内においても2020年3~5月に第1波の流行(図2)が見られた。COVID-19は、感染部位によつて上気道炎、肺炎を発症する。しかし、感染した全員が発症するわけではなく、無症状で経過する例も相当数存在する。発症者の主な症状は、発熱、咳、筋肉痛、倦怠感、呼吸困難などが多くみられ、頭痛、喀痰、血痰、下痢、味覚障害、嗅覚障害などを伴う例もみられる。また、上気道炎の症状が主体で

あつても肺炎が存在する例もあり、発熱の程度もさまざまである。重症化する例では肺炎発症後の進行が早く、急激に状態が悪化する例が多い。重症化の要因は、循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病、がん、免疫不全、人工透析などの基礎疾患や高齢者である。血管炎を起して血栓を誘発し、脳梗塞や心筋梗塞の原因となることや、川崎病に類似した特殊な病態も発生している。6月10日時点で、国内の重症者数は感染者数の82%であり、死亡率は全体で37%であった。特に70歳代で10.1%、80歳以上で20.1%と、高齢者の死亡率が高い傾向にある。

## COVID-19の今後の行方

国内では、4月7日に緊急事態宣言が発令され、その後、感染者数は減少し、

5月25日に緊急事態宣言が解除された。しかし、自粛が解除され社会生活が戻るとともに感染者数は増加している。このCOVID-19は、無症状の感染者が相当数いて、感染を広めていることより、短期間で終息させることは難しい。今までは北半球で猛威を振るっていたが、最近ではこれから冬を迎えるブラジル、南アフリカなど南半球の国々においてCOVID-19の急増が報告されている。今後、国内においても海外との人の移動が増える段階では、海外より感染が持ち込まれ、感染者数が増加することが懸念される。第2波はいつ来るかの予測は困難であるが、人と人との接触が増える状況や海外からの持ち込み、秋から冬にかけての季節の変わり目などが引き金となり、第2波が来る可能性が高い。



一般社団法人日本環境感染学会 理事長  
東京慈恵会医科大学 感染制御科 教授

よし だ まさ き  
**吉田 正樹 氏**

経歴  
1985年 東京慈恵会医科大学卒業  
2003年 東京慈恵会医科大学内学講座 講師  
2013年 東京慈恵会医科大学感染制御科 准教授  
2017年 東京慈恵会医科大学感染制御科 教授

図1

世界の新型コロナウイルス感染症発生状況

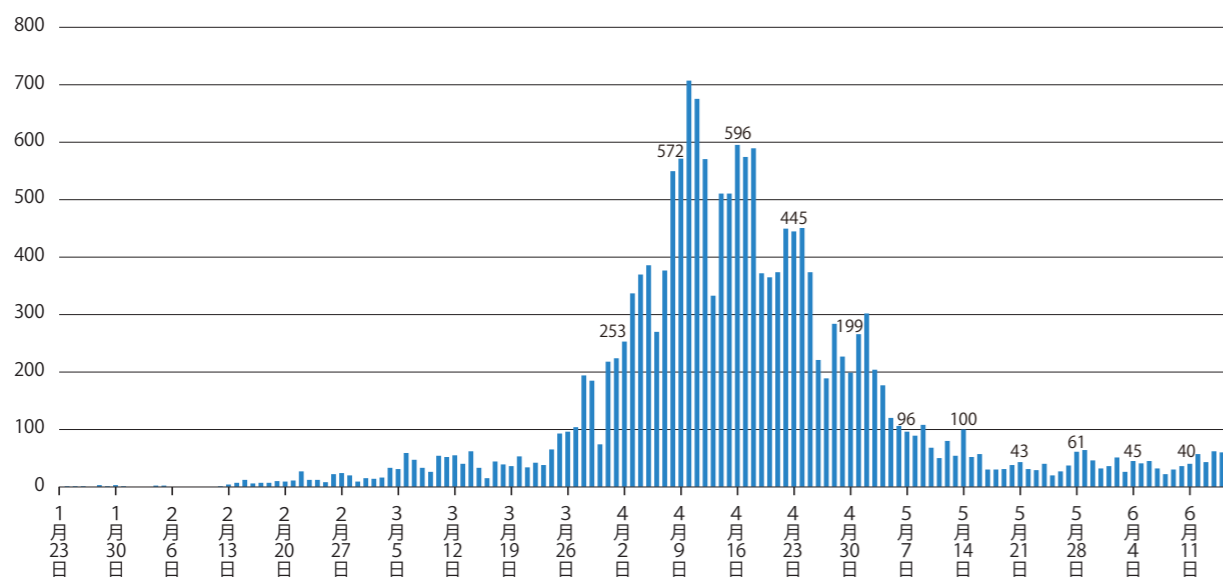


COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering (CSSE) at Johns Hopkins University

図2

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数 2020年6月16日24時時点



厚生労働省ホームページより

表1

「新しい生活様式」の実践例

(1)一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m(最低1m)** 空ける。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを**着用する。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意**する。
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。  
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う(手指消毒薬の使用も可)。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2)日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**  咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)  身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避(**密集、密接、密閉**)
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3)日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4)働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務  時差通勤でゆったりと  オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン  対面での打合せは換気とマスク

厚生労働省ホームページより

PCR検査は、  
どんな時に受けるべきか

2月中旬には、PCR検査数は、1日約1,000件程度であり、限られた有症状者のみが検査を受けられた状況であったが、その後、3月6日より保険適用となり、増加が期待された。実際に増加したのは3月末ごろからであり、現在では最大2万8千件ほどの検査能力があるとされている。緊急事態宣言が解除された後も、1日約5千〜8千件の

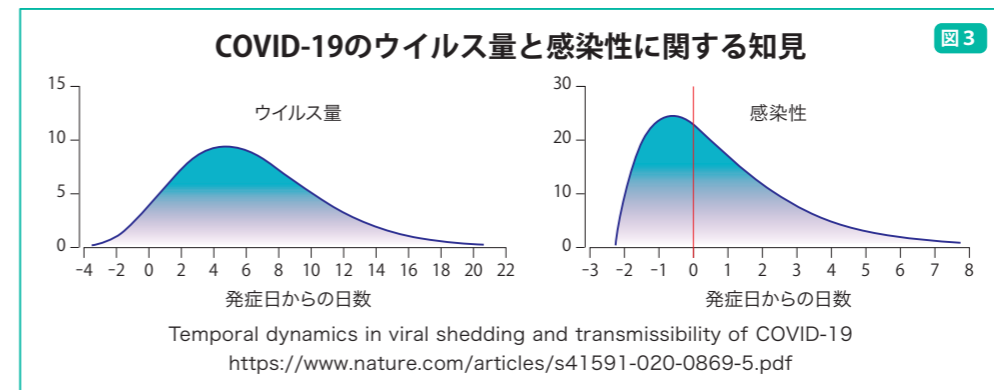
感染防止策(マスク、手洗いなど)をどうするか?

今まで病院の中で行われてきた感染対策が、日常でも行われるようになってきた。感染対策のポイントには、ウイルスを含む飛沫が目、鼻、口の粘膜に付着することを防ぐことと、ウイルスが付着した手で目、鼻、口の粘膜を触れるのを防ぐことである。そのため、標準予防策(だれもがウイルスを持っているものとして対応する)、飛沫予防策(飛沫から

緊急事態宣言解除後の注意点

COVID-19が発生して、我々の生活様式は一変した。密閉空間、密集場所、密接場面(3密)などクラスター(集団)感染発生リスクが高い状況を回避すること、人と人と接触を80%減少させることが、緊急事態宣言時に求められた。解除後も感染者は、引き続き発生し、3密の場面は回避することが望まれている。唾液中に高濃度のウイルスが排出され、会話・発声にもない排出される小さな飛沫(マイクロ飛沫)が、感染伝播に重要であることが明らかとなっている。密接な距離、換気の悪い密閉した場所でのマイクロ飛沫を吸い込むことが、感染のリスクを高める。一人一人が感染を起こすリスクが高い場面や行動を理解し、リスクを下げる行動をとることが重要である。

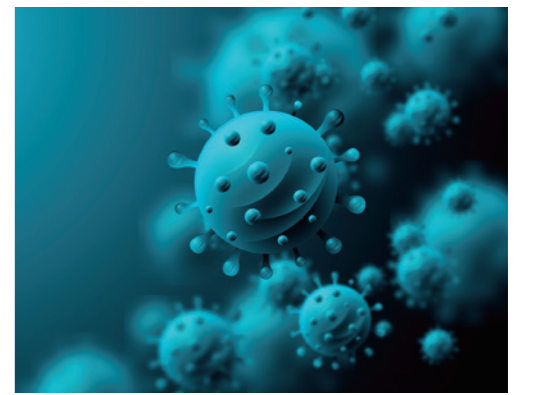
検査が行われている。現在は、感染者数も少なくなり、軽症例や濃厚接触者の検査も行われている状況である。鼻腔、咽頭から検体を採取するのに感染のリスクがあるために個人防衛具をしっかり装着しての検体採取になっていたが、唾液によるPCR検査も実施されるようになり、検体採取時のリスクが低下したことも検査数が増加した理由の一つと考えられる。感染者を早期に見つけ、封じ込めるためには、早期に抗原検査やPCR検査を受けて、感染の有無を明らかにすることが重要になってくる。特に、基礎疾患のある高齢者と接触する機会が多い医療従事者や介護施設の職員は、早期検査が望まれる。また、職場が3密である場合やマスクを外すことの多い職種でも早期の検査を行い、周囲の人への感染を防止することが今後必要になってくる。



の感染を防ぐ)、接触予防策(手洗い、手指消毒)を行うことが重要である。症状が出現する2日ほど前から出現直後にかけてウイルスの増殖が始まり、感染性を発揮する可能性が指摘されている(図3)。常時マスクを着用し、手指衛生をしっかりと行い、場合によってはフェイスシールドを着用することが推奨される。

これからの第2波に備えて

第2波は、必ず来ると思っており対策をすることが重要である。誰が感染しているか分からないので、人と接触する時は、相手が感染している可能性を考えて、マスクの着用、手洗いの励行、身体的な距離の確保を行うことが基本である。仕事はテレワークで、会議はオンラインで行うなど新しい働き方(表1)に変更が可能であれば、変えていきましょう。食事などマスクを外す時には、会話を控えてリスクを下げましょう。今後、半径1メートル以内に15分以上感染者と接触することで通知される新型コロナウイルス接触確認アプリが使用可能となる。これらを利用し感染者との接触の早期発見、早期診断がなされれば、第2波を抑え込むことも可能になってくる。



# アフリカビジネスの可能性

近年、世界のビジネス界で注目の投資先は、アフリカ。日本では、まだなじみがない、と感じる方も多いかもしれませんが、日本企業の進出も進んでいるという。日本と開発途上国との投資と技術移転の橋渡しをする国連機関であるUNIDO (国際連合工業開発機関: United Nations Industrial Development Organization) 東京事務所長の安永裕幸氏に、その入口についてご寄稿いただきました。

## UNIDO東京事務所とは？

皆さんの中でUNIDOという国連機関のことをご存じの方はいらっしゃいますか？この組織は1966年に設立されました。そもそもUNIDOが国連の中の組織として設立された背景には、1960年代にアフリカ諸国を始めとする多くの開発途上国が独立を果たす中で、経済的には苦境にあえいでおり、その要因が「数少ない一次産品(農林水産物、地下資源)に経済を依存し過ぎている。一次産品は価格変動も激しく、かつ、旧宗主国の巨大資本が牛耳っている場合も多い。工業化によって一次産品に付加価値を付けなければ経済発展は実現できない」という考えに基づいたものです。本部はオーストリアのウィーンにあります。東京事務所は1981年に設立され、正式には「東京投資・技術移転促進事務所 (ITPOTokyo)」と呼ばれますが、その名の通り、「日本から開発途上国へ投資と技術移転を促進すること」が使命です。



UNIDO東京事務所アフリカアドバイザー(中央:UNIDO東京事務所 所長 安永裕幸氏)



UNIDO東京事務所アフリカアドバイザー事業の対象国、UNIDO東京事務所がデレゲートプログラムを実施した国、UNIDOの拠点を示したアフリカの地図

## これから世界の投資はどこへ向かうのか？

読者の皆さんが所属しておられる会社の中には、中国やアセアン諸国に販売子会社や工場を持っておられるところが沢山おありだと思います。現地法人でお仕事をされたご経験をお持ちの方も多いでしょう。既にアジア諸国と日本とはモノもサービスも深く広がってつなげています。

しかし、近年、世界のビジネスの目はアフリカに向いています。この大陸には既に12億人の人々が生活(インドや中国にほぼ匹敵)しており、多くの国々が5〜7%(場合により二桁)という凄まじい勢いで経済発展を遂げています。勿論、多くの課題もあります。基礎的な社会インフラである電力・水道・医療・廃棄物処理等が未整備、外資に対する制度もまだまだ十分とは言えない、更には、12億人強の人口を擁するにも拘わらず54か国に分断されている(内陸国も数多い)ので、道路、鉄道あるいは通関等の連結インフラが未整備で市場が分断され、その大きさを活かせていないこと等です。しかしながら、これらはチャンスでもあります。

勿論、アジアやその他の地域においても、先述したような中国やアセアン諸国以外にも、投資促進のチャンスは沢山あります。南アジア、中央アジア、太平洋島嶼国、ラテンアメリカ等です。これらの国々も私達のターゲットです。



UNIDO東京事務所のホームページ



第7回アフリカ開発会議に併せて開催したB2B商談会

## では、UNIDO東京事務所は何をやっているのか？

私達の活動をご紹介します。次のような幾つかの柱からなっています。

### (1) デレゲート・プログラム

開発途上国の経済発展には、外国からの直接投資（現地法人や工場の設立、販売代理店設立、M & A など）が極めて有効です。各国は「投資誘致」のために、政府機関において外資のための制度的環境整備やインフラ（工業団地や港湾）の整備を進めています。こうした機関の実務家（デレゲート）を日本に招聘し、2週間程度の間に幾つかの都市でセミナーを開催し、関心をお持ちの企業とは1対1の相談会（B2B商談会と呼んでいます）をアレンジするという、通称「デレゲート・プログラム」を年間約10国で開催しています。

### (2) アフリカアドバイザー事業

数ある開発途上国の中でも、アフリカ諸国は、上記のとおり大きなポテンシャルを持ちつつも「物理的（距離的）に遠い」「歴史的に遠い（なじみがない）」「言語的に遠い（アジア諸国と異なりプロローグな英語ではコミュニケーションができない、仏語が必要な国もアフリカの半分近く）」ということですから、やはり現地に頼れるパートナーが必要です。UNIDO東京事務所では、エチオピア（ウガンダ、ルワンダ、ブルンジも担当）、アルジェリア、モザンビーク及びセネガルにおいて、当事務所所員として現地の経験・人脈豊富なビジネスパートナーを雇い、彼らを「アフリカアドバイザー」と呼んでいます。日本企業が現地に出張するような場合は、投資認可等の政府関係部署への水先案内、そして現地の信頼できるビジネスパートナー探し等に力を発揮してくれます。

### (3) サステナブル技術普及プラットフォーム (STePP) による技術移転

開発途上国においては、特に「エネルギー」「環境保全」「食料・食品加工（アグリビジネス）」「保健衛生」等の分野で、現地の事情に合致したソリューションが強く求められています。こうした分野における「日本発」の技術を当方で審査・登録し、ホームページ上で公開して開発途上国の潜在的ユーザーに対して情報発信を行っています。当方はどのような企業からの申請も歓迎しますが、特に中小企業で独自の技術をお持ちの会社を歓迎しています。予算不足で苦労はしているところですが、中小企業向けには登録技術に関するビデオの制作も行っています。

## 日本企業の投資促進に関する UNIDO東京事務所のお手伝いのささやかな事例

これまで40年近くの間、色々な日本企業の開発途上国投資のお手伝いを行ってきました。事例は私達のホームページをご覧頂くのですが、例えば、エチオピアに日本からの唯一の製造業の投資事例としての皮革製品製造業の（株）ヒロキさん、マダガスカル・タンザニアナイジェリアへの穀殻固形燃料製造装置導入の（株）トロムソさん、ケニアの茶葉加工工場への省エネ型乾燥機導入の大洋電気（株）さん、バングラデシュにユニクロの生産管理拠点を開設した（株）ファーストリテイリングさん等、枚挙にいとまがありません。

## 日本企業の方々へのメッセージ

これから日本市場は縮小します。また、アジア市場でも、中国企業やアセアン地場企業のプレゼンスがどんどん拡大していきます。この機会に、「新しい市場」を見てみませんか？ 日本企業は「技術力の高さ」と「長期的視点に立つビジネス姿勢の誠実さ」により世界中で歓迎されています。少しの勇気は必要ですが、私達も及ばずながらお手伝いを致します。



UNIDO  
UNITED NATIONS  
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION

国際連合工業開発機関  
東京投資・技術移転促進事務所 所長  
やす なが ゆう こう  
**安永 裕幸** 氏

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70 国連大学本部ビル8階  
TEL:03-6433-5520 FAX:03-6433-5530

<https://www.unido.or.jp/>



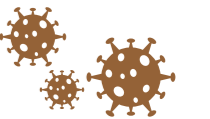
STePPのパンフレット

- (1) デレゲート・プログラム  
<https://www.unido.or.jp/activities/delegate/>
- (2) アフリカアドバイザー事業  
[https://www.unido.or.jp/activities/activities\\_overseas/](https://www.unido.or.jp/activities/activities_overseas/)
- (3) サステナブル技術普及プラットフォーム (STePP: Sustainable Technology Promotion Platform) による技術移転  
[https://www.unido.or.jp/activities/technology\\_transfer/technology\\_db/](https://www.unido.or.jp/activities/technology_transfer/technology_db/)





# コロナ後の日本 小さいことは素晴らしい



コロナ感染症、パンデミックは世界中の人々の生活を変えてしまった。もう疲れ果てた我々は出口戦略に縲の望みをつなぐ。だが二次感染、三次感染の波が襲ってくるかもしれない。政府、経済界は元の社会生活、経済活動に戻そうと必死だが、世界の様相は様変わりすると、僕は感じている。

つまりコロナ禍は地球の環境を破壊し、資源をむさぼってきた人類に対する未来からの警告ではないか。グローバリズムによりヒト、モノ、カネを地球規模で動かし、ひたすら経済成長してきた経済モデルは南北格差や物凄い貧富の差を生み出してきた。それを自然はコロナというウイルスを地球上に蔓延させることで「もう限界です」と反省をつながしていると思える。

健康に良いものを毎日食べるのが出来、周りの人と仲良く平和に暮らすのが幸せの原点だと思っ。それは気分転換になる。

僕は新聞社を辞めた後、「もう都会のコンクリートの箱に住むのは嫌だ」と房総半島の真ん中の土太郎村作りに参加した。高滝湖近くの市原市加茂地区の丘陵10万坪に10年前に家が建ち始め今や80軒。いずれ140軒くらいになる予定だが、コロナの問題が起きて「この土太郎村に移住して良かった」といつか思っ。①新しい生き方の追求 ②地産地消 ③Ecoフレンドリー ④直接民主主義の4点を目標に掲げる小さな土太郎村は「コロナ後のモデルケース」になるだろう。

日本政府は外交と国防に特化して道州政府に医療、福祉、教育、災害対策などを任せたら良い。その方が地方毎の特色が出せる。地域の事情にあったコロナ対策も可能だ。全国一律に休校なんかせず、全国民にマスク2枚を配るなんていう愚策はなくなるだろう。そして市や町は廃止して村に分ける。村だと村長さんは地域の実情を熟知している。村長をはじめ村民は顔見知りだ。国会、道州議会、村会の議員は人数を減らす。

名古屋市と同規模のスウェーデンの首都、ストックホルムの市会議員は少数の常勤者を除いて議会に出席した

高級レストランで豪華な食事をすることは違う。世界を旅して異文化に触れたり、人種も民族も違う人々と知り合うことは楽しいが、足元の自分が住んでいる地域の素晴らしさを再発見すべきだと思う。地元でおカネが循環すれば雇用も生まれ過疎化も進まない。

コロナ禍はグローバリズムからローカリズムへの転換を促している。日本の食料自給率はカロリーベースで40%弱だ。地球の裏側からも食へ物を輸入しているが、そのうち世界的な食料危機が予想される。食へ物もグローバルに調達するだけでなくローカルに地産地消を進めなければならぬ。

実は日本ではあまり報道されないが、アフリカ東部で大量発生したバツタが次々と大発生を繰り返し、穀物を食い尽くしながらイラン、パキスタン、インドと移動し、4000億匹の規模で中国に迫っている。気候変動でアフリカを先進的ではなく、日本中の村と連携し、先進的な村に学ぶ。それぞれが村が地元の資源を生かし、村の中でおカネが回るようにする。現在、日本は石油、天然ガス、石炭などを世界各国から買っている。その代金を払うため自動車などを必死に輸出しているが、エネルギー輸入を減らせれば貿易収支は大幅黒字になる。つまり日本中の村が太陽光、風力、バイオマス、地熱などの地域に合った自然エネルギー発電の小さな電力会社を持つ。そうすれば火力発電のための地下資源の輸入は減らせる。CO2は削減できるし、地域電力会社は地元の雇用を増やし、地域でおカネが回る。村税はそうした小さな電力会社や地域振興に使っべきだ。

グローバルからローカルへのパラダイム転換は、村に結実する。産業革命以来、大工場が作られ「大きいことは良いことだ」とばかり、大量生産、大量消費の時代が続いてきた。欧米諸国は資源を確保するため中東、アフリカ諸国を植民地化し、一度の世界大戦で想像を絶する犠牲者を出した。日本も

リカ東部の気温が上昇し、雨が降り、サバクトビバッタの繁殖に最適な環境となったため大量発生した。このバッタは風に乗って1日に145キロメートルも移動し、小麦、米であらうとトウモロコシであらうと実から、葉、茎まで跡形もなく全て食べてしまい手の打ちようがない。

タイ、ベトナム、ロシアなど15か国が穀物に新たな輸出制限をかけ、日本が穀物を輸入できない事態や食料危機が差し迫っている。結局、自分たちが食べるものはなるべく自分で作るという暮らしに戻るのが、生き延びる道なのかもしれない。つまり増える一方の耕作放棄地や休耕地を多くの人が「マイ畑、マイ田んぼ」にすれば良い。

「コロナで在宅勤務が普及した。何も賃料の高い大都会に本社ビルを持つ必要はない。田舎に住んでテレワークすれば満員電車でコロナ感染を心配アジア、中国を侵略した。さすがに第三次世界大戦は回避してきたが、紛争は絶えず、グローバリズムが横行する中でコロナ禍が起きたのだった。



だから「小さいことは素晴らしい」との意味を我々は考える時なのだ。大都会より、小さな村の生活。大企業より、創意工夫や働き甲斐のある中小企業。事故が起これば破滅的な原発による大電力より、地域毎の小さな自然エネルギー発電。これまで強いものに独占されて来た情報はITの発達で個人でも世界中から集められる。大きなテレビや新聞に頼らざるを得なかった情報発信はSNSやYouTubeで誰でも出来る。安倍首相を検察庁法改正案見送りに追い込んだのは600万ともいわれるツイッターの小さなつぶやきだった。



ジャーナリスト

なか じま けん いち ろう  
**中島 健一郎** 氏

1944年東京生まれ 東京大学卒業後毎日新聞社に入社。毎日新聞の社会部で警視庁、警察庁、国税庁を担当する他、調査報道を行い、外信部ではワシントン特派員、ワシントン支局長として国際報道に携わる オウム真理教事件の時の社会部長。英文毎日局長、事業本部長を経て事業担当常務2006年に退任後は大正大学の客員教授を5年間務めた他、房総半島で新しい生き方を追求するミュアヘッドフィールズ土太郎村作りに関わっている

# Asian Now 緊急レポート! 新型コロナウイルス禍 が直撃した技能実習生

協同組合ビジネスプラザ 理事 安藤 正啓氏

新型コロナウイルスが日本を、そして世界を襲いました。日本に来た技能実習生にも、さまざまな影響が出ておりますので、現状(執筆時点6月22日)での状況や対応・救済措置などについてレポートします。



## 技能実習生の状況

新型コロナウイルスは、市民生活はもちろんのこと、企業活動にも容赦なく影響を与えました。

技能実習生を受け入れる実習実施者もその例外ではなく、計画されていた技能実習の

実施に影響が出てしまったところもあります。実際に影響が出た企業の状況とその対応についてレポートいたします。

### 【ケース① 外食産業の会社】

外食産業の食品を製造するこの会社では、3月ごろから店舗等での営業停止や売上減少が発生し、工場生産が激減しました。このため、実習生が行う実習作業にもその減少が影響し、実習作業が実施できない状況に陥りました。

このような状況に際し、この会社では、海外から技能実習として来日し、技能実習の他に生活の術がない実習生を守るため、会社として次の対策を取りました。

#### ① 交代制の導入

激減しつつも、わずかに残る生産業務について、実習作業内容を、2日に一度の勤務や短時間労働でワークシェアしています。

## 新型コロナウイルスに関連する実習生への対応

出入国については、規制またはやむを得ない事情で動けない状況が発生しているため、法務省や外務省、厚生労働省等で対応を行っております。

### ① 訪問巡回

緊急事態宣言で人との面会、いわゆる3密を避け、組合員と職員の双方を守るため、対面での巡回を行わない方針としました。

この代替手法として、ZOOMやSKYPEでのWEB SITE巡回、メールや電話での状況伺い、実習生にはSNSを通じて情報収集も行いました。直接対面でない方法は、表情等感覚的に感じにくく、分からないこともあり、時間や場所の制約が減ったことで余裕ができるなど、メリットとデメリットの両方があったと感じています。

### ② 帰国ができない

このような状況下で、妊娠をした実習生が数名発生しました。

本人の意思に寄り添うようにしておりますが、本人が帰国を望んでも、飛行機もなく帰国ができない状況で、現在でも帰国ができない状況が続いており、チャーター便による帰国も模索しております。ただあくまでも技能実習生本人の人生を最優先するものですので、個別に対応方法は異なるのですが、それぞれのケースで最善の方法を選択し、無事に帰国させてあげられるよう、監理団体担当者は皆現場で文字通り奮闘しています。



### ② 給与は全額支給

実習実施時間の実情に照らし、休業手当60%の付与をする方法もありましたが、実習生たちの生活を考え、交代勤務に関わらず100%での支給を行いました。

現在では生産も徐々に再開し、7月には完全再開となる見込みが立ったことで、技能実習生たちも安堵しているとのこと。

さらに、副次的な効果として、困難な状況の中でも会社が真摯に努力してくださったことで、実習生は安心して実習に勤しむことが出来、会社への愛着や帰属意識も生まれ、覚えやすい影響がもたらされた、とのこと。



### 【ケース② ホテル関係の会社】

ホテルでのビルメンテナンス・ベッドメイ

### ② 入国について

以下に該当する外国人は、当分の間、特段の事情がない限り、上陸拒否の対象となっております。

※日本上陸前14日以内に以下の地域に滞在歴のある者  
インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、バキスタン、パナマ、メキシコ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、モルデブなど

### ③ 今後入国する予定の実習生への対応

在留資格認定証明書の有効期間に関する措置 ↓ 通常は、3か月間「有効な在留資格認定証明書を当面的に6か月間」有効なものとして取り扱ったこととされました。

### ④ 入国後の対応

健康状態に異常のない方も含め、検疫所長の指定する場所(自宅など)で入国の次の日から起算して14日間待機し、空港等からの移動も含め公共交通機関を使用しないことが強く勧奨されています。

このため、入国前に、ご自身で入国後に待機する滞在先と、空港等からの滞在先まで移動する手段(公共交通機関以外)を確認することが求められます。

入国の際に、検疫官によって、入国後に待機する滞在先と、空港等から移動する手段について検疫所に登録することになります。

加えて、入国した日の過去14日以内に入管法に基づく『入国制限対象地域』に滞在歴のある方については、全員にPCR検査が実施され、検査結果が出るまで、自宅等、空港内のスペース又は検疫所が指定した施設等で、待機することになります。

キングを行なうこの会社では、インバンド需要の激減をまともに受けることになってしまい、ビルメンテナンスの実習を行う技能実習生の実習場所のホテルが休業となってしまったため、実習生の実習作業も基本的にはない状況となってしまいました。

この状況に対し、会社としては、周辺業務の研修や日本語の勉強なども行いつつ、同時並行で他の実習場所も検討し、会社の営業努力もあって、このホテル以外での業務実施が可能となり、技能実習生を別の実習場所へ技能実習を継続することができるようになりました。

しかしながら、別の実習場所での実習の実施は実習生にとっては、現場のルールを新たに覚えたり、慣れない移動などからストレスを感じたりする場合もあり、疲れを口に出す実習生もいましたが、現在では、もともとの実習場所は現在も休業したままですが、新たな実習場所を得て、技能実習生たちは元気に実習に動いています。これからも新型コロナウイルスの状況次第で影響はあるかもしれないが、現在は安定した実習を続けられることに喜びを感じる毎日であるとのこと。

## 監理団体の対応

監理団体としては、コロナの影響を受けていない会社・コロナ禍によって仕事のやり方が異なっている会社へそれぞれ違ったアプローチをしたり、緊急事態宣言により外出・面会もままならない中での状況での対応を

(現在、入国制限対象地域の拡大に伴い、検査対象となる方が増加しており、到着から入国まで数時間、結果判明まで1日〜2日程度待機する状況が続いています。)



## まとめ

今後について、6月18日の政府の発表によると、タイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドの4カ国から1日最大250人程度のビジネス関係者の入国を認め、入国緩和を進める方針とのこと。

目に見えないものとの戦いであり、先行きはまだまだ不透明と言わざるを得ませんが、時間の経過とともに解決の道筋が見えてきたように感じる時が増えてきました。

新しい生活様式への転換点と前向きに捉えつつ、一日も早く技能実習生と実習実施者たる企業が安心して技能実習を行える日常が回復することを重ねて祈るばかりです。

※掲載の情報は、執筆時点での情報です。最新の情報につきましては、政府機関・各機関の情報をご確認ください。

次亜塩素酸  
 粉末タイプ  
**除菌剤**



**ZIABATTLE**  
 -ジアバトル-

**ウイルス 細菌 ニオイ対策に**

水道水に溶かすだけ

いつでも  
 理想の  
 塩素濃度

500ml  
 300円の  
 低コスト

気になるところにサッとひとふき



活用事例

塩素濃度 50ppm

おもちゃ 加湿器 食品のパック  
 食器 まな板・包丁など

除菌後に水洗いしてね！

塩素濃度 100ppm

消毒する ペット用品 トイレ  
 ドアノブ 寝具や家具

アルコール・次亜塩素酸ナトリウム・次亜塩素酸水 何が違うの？

	ジアバトルによる ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム 次亜塩素酸水 pH6.5	次亜塩素酸水生成装置による 次亜塩素酸水 pH6.5	次亜塩素酸ナトリウムによる 次亜塩素酸水	アルコール (エタノール)
コスト	○	△	△	×
安全性	○ 人体に害なし	○	×	△ 刺激がある
におい	○ 塩素臭ほぼなし	○	×	×
消臭力	○	○	△	×
ウイルス	○	○	○	△
細菌	○	○	○	○

ジアバトルの主成分はジクロロイソシアヌル酸ナトリウムです。

ジアバトル シード

検索

株式会社 シード

<http://www.se-ed.jp/>

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 3-3-34  
 TEL 06-6399-3660 FAX 06-6399-3661